

平成 20 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社テクノ菱和
代 表 者 の 代表取締役社長 阿部 捷司
役 職 氏 名
(コード番号 1965 東証第2部)
問 い 合 せ 先 常務取締役 小杉 道夫
管理本部長
電 話 番 号 03-5978-2541

平成 20 年 3 月期 通期単体業績予想の修正

および平成 21 年 3 月期 通期単体業績予想に関するお知らせ

直近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期単体業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

また、あわせて平成 20 年 2 月 15 日付け「固定資産の取得および譲渡に関するお知らせ」にて公表いたしました固定資産譲渡に関しまして、当該取引による特別利益を加味した平成 21 年 3 月期通期単体業績予想につきまして、次のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 通期単体業績予想の修正

(1) 平成 20 年 3 月期通期単体業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成19年11月14日発表)	57,000	730	930	300
今回修正予想(B)	54,500	880	1,090	400
増減額(B-A)	△2,500	150	160	100
増 減 率	△4.4	20.5	17.2	33.3
前期(平成19年3月期)実績	60,010	1,670	1,859	1,103

(2) 平成 20 年 3 月期 通期単体業績予想の修正理由

売上高につきましては、工事進行基準の対象となる大型案件の工事進捗率が予想見込よりも低下したこと、完成期の変更により数件の大型案件が次期へ繰越したこと等の理由により予想より減少いたしました。

利益につきましては、売上高減少に伴い売上総利益は減少いたしましたが、粗利益率の改善や一般管理費の経費削減等により営業利益、経常利益、当期純利益は予想を若干上回る見込みであります。

2. 平成 21 年 3 月期 通期単体業績予想および固定資産譲渡による影響額

(1) 平成 21 年 3 月期 通期単体業績予想数値 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 21 年 3 月期 通期単体業績予想数値	64,000	1,900	2,000	2,800
固定資産譲渡による 当期純利益への影響額				1,772

(2) 平成 21 年 3 月期 通期単体業績の見通し

既存取引先の大規模設備投資への参画など工事受注が順調に推移していることに加え、完成期の変更により現在施工中の大型案件のうち数件が平成 21 年 3 月期決算に計上されることから、売上高は 64,000 百万円 (平成 20 年 3 月期通期単体予想比 9,500 百万円 (17.4%) 増) を見込んでおります。

利益につきましては、選別受注による不採算工事の削減を図り、利益率の確保を進めることにより、営業利益は 1,900 百万円 (同 1,020 百万円 (115.9%) 増)、経常利益は 2,000 百万円 (同 910 百万円 (83.5%) 増) を見込んでおります。また、東京都港区南青山に保有する不動産の譲渡に伴い 2,979 百万円の特別利益を計上する予定であるため、当期純利益につきましては、2,800 百万円 (同 2,400 百万円 (600.0%) 増) を見込んでおります。

(注) 業績予想につきましては、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以上